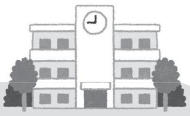
要望しています
～笠岡市の未来のために～

令和４年度
当初予算
要望事項

３月定例会では、令和４年度笠岡市一般会計当初予算の審査を行いました。慎重審議の結果、修正可決することに決定しましたが、８件の事項を要望することとなりました。要望を市がどう取り扱っているのかは、進捗状況として定例会ごとに市から報告をしてもらいチェックしています。

ごみ収集施設設置等補助事業について

きちんとした分別ができる仕組みを各エリアで作るために、ごみ収集施設整備に対しては、さらに税金を投入するなど、施設設置に対する補助金や財源の見直しを行うこと。



小中一貫校整備事業について

新しい教育を意識した構想のもと、将来のこどもの状況を踏まえて、明確な指針を立てたうえで、先駆的で、魅力にあふれた特色ある施設を作ること。

離島振興委託事業について

令和３年度予算の要望事項では各島ごと、各事業ごとの事業報告を求めるなど、その内容を明確にしてほしいとの要望をしていたにもかかわらず、議会からの要望が考慮されていなかったことを重く受け止めていただき、次年度については、島ごとに細かく事業計画を明確にするなど、皆が納得できる事業計画を提案すること。

ひまわり認定こども園新築事業について

ひまわり認定こども園の新築については、旧給食センター跡地を利用することから、地元との協議を十分に重ねて意向を把握し、信頼を損なうことがないよう早期に対応することで、遅滞なく令和７年度に開園できるようにすること。

道路維持事業について

高齢者や電動カート等の利用者が増えてきている状況であるが、一度舗装してから長年に渡り修繕が行われず、通行に危険な状態となっている道路がある。通学路や交通量の多い道路では、わだちができているために自転車や原動機付き自転車等の通行が危険となっている箇所もあるため、現状をよく把握し、安全に通行できる状況を保つこと。

ふるさと納税推進事業について

令和３年度に、ふるさと納税の返礼米の買取において市場価格が下がったことにより、笠岡市の買取価格も下げたということがあった。笠岡市が稲作農業者を守り、笠岡の米を重要視しているのであれば、今後は市場価格に連動するのではなく、稲作農業者と笠岡の米を守っていくという考え方に基づいた買取価格の決定を行うこと。

若者会議開催事業について

若者会議を通じて、未来のリーダーを育成していくという気概を持って、オンライン会議等も活用して活動の促進を図り、成果が見える事業にすること。

消防団員処遇改善事業について

待遇改善による弊害が出てきた場合には、調査・改善を行うとともに、消防機庫等の既存施設の改善や、消防団員の出動に際しての情報の発信方法や出動要請の方法について、精査をすること。